

シルビアUVカットフッ素クリアー

【改訂第2版】

航空機用塗料の耐久性を

あなたの住まいに

日本で唯一の 航空機用塗料メーカー そのノウハウを、あなたの住まいに。

自然界で最も過酷な紫外線量を受ける上空高度1万mを飛ぶ航空機は、
-50℃の世界を時速900kmで飛行します。

強い紫外線や急激な温度変化、

激しい風圧といった厳しい環境に耐え、

空中の微細なチリからも

機体を保護しなければならない特殊な塗料が航空機用塗料です。

その航空機用塗料の性能と機能で、

あなたの住まいを守ります。

高度1万mは、
地上に比べて
1.5~2倍の
紫外線量。

お肌のトラブルの
要因として
挙げられる紫外線。
常に太陽光を浴びる
建物も例外では
ありません。

高度1万mの
紫外線に耐える
航空機用塗料の性能が
住まいを守ります。

航空機用塗料の技術を応用。 あなたの住まいを守ります。

「シルビアUVカットフッ素クリヤー」の特長



住まいを長持ちさせるために——。

住まいの意匠性を残したまま美観を復元します。



築10年の外壁。紫外線や雨水、粉塵などの汚れにより塗膜層にダメージ。光沢がなくなり、汚れも目立ち美観が悪くなります。



「シルビアUVカットフッ素クリヤー」で塗装後の外壁。光沢を復元し、紫外線をカット。低汚染性と高耐久性で、美観を長持ちさせます。

築10年以内での塗り替えがポイントです。

汚れや退色の跡が酷くなる前の築10年以内でのメンテナンスが、美観を守り長持ちさせるポイント！

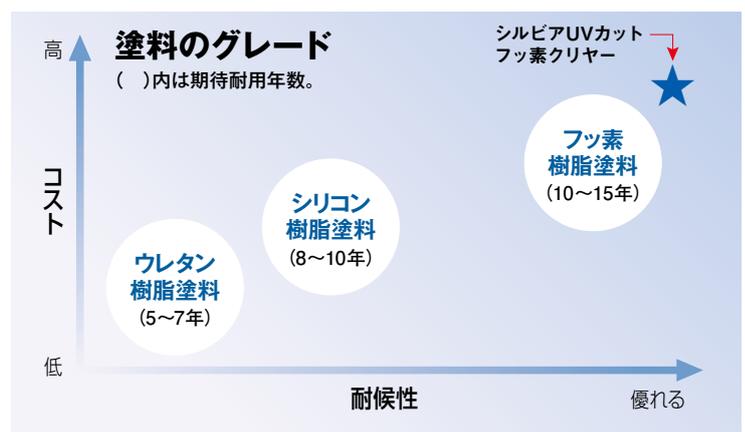


ライフサイクルコストを考えたら、耐候性に優れたフッ素樹脂塗料。

一般的な期待耐用年数は、ウレタン樹脂は5~7年、シリコン樹脂が8~10年、フッ素樹脂は10~15年を目安としています。この耐用年数が長いものほど高価になります。

当社は、航空機用塗料のノウハウを生かした最上級グレード「シルビアUVカットフッ素クリヤー」をご提案します。

※期待耐用年数は次回塗り替えまでの推奨年数(目安)です。ただし、塗膜は雨風により表層から少しずつ風化し、初期の光沢は徐々に低下していきます。



住まいを守る、確かな性能。

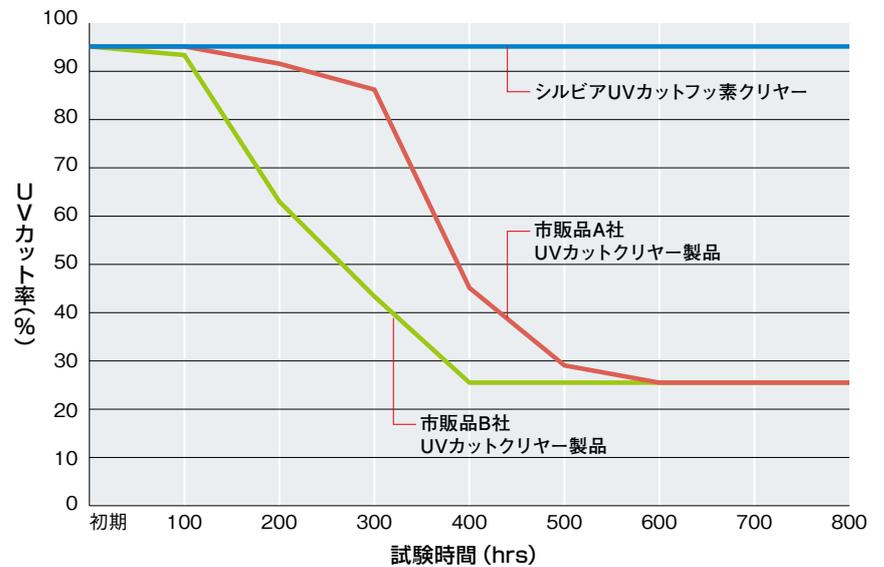
耐候性

UVカット率

長期にわたり紫外線をクリアー層で吸収(カット)。

航空機塗料にも使用される高性能紫外線吸収剤により、長期的かつ高効率に紫外線をカットします。高意匠性サイディングボードの塗膜まで到達する紫外線を極少量とすることで塗膜へのダメージを軽微にし、サイディングボードの色あせを抑制します。

●スーパーUVによる促進耐候性比較 (UVカット率)

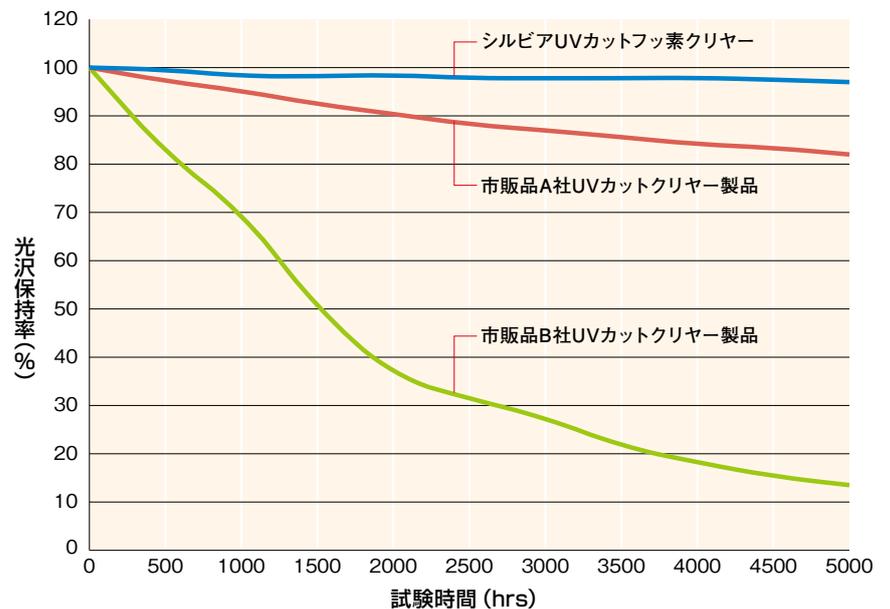


光沢保持率

フッ素樹脂と高性能紫外線吸収剤のW効果で高耐久性を発揮。

塗料樹脂の中でも耐候性が高いフッ素樹脂と高性能紫外線吸収剤を併用することで、高耐久性を実現しました。経年による劣化(光沢低下)を抑制し、塗装初期の光沢を長期的に維持します。

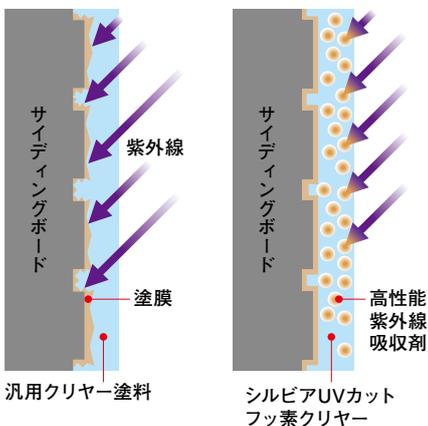
●キセノンウェザーメーターによる促進耐候性比較 (光沢保持率)



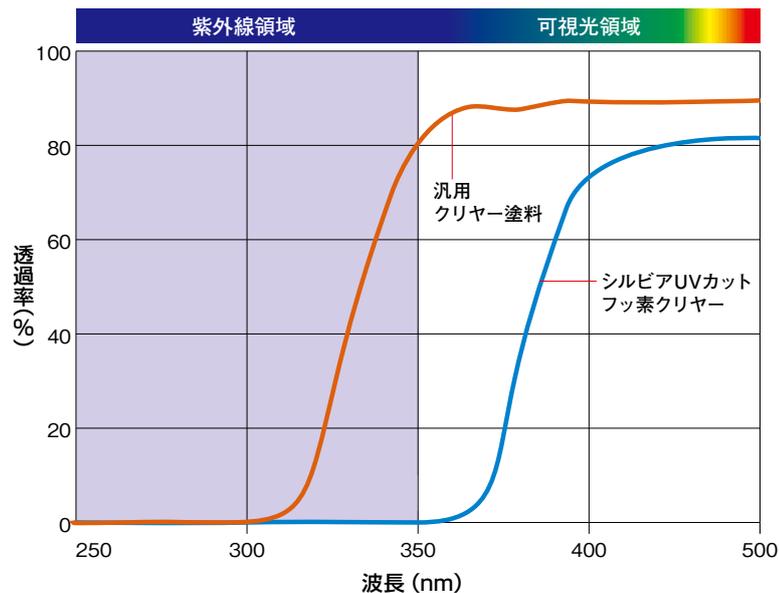
UV吸収性能・UVカット

紫外線をクリアー層で吸収し、ボードの塗膜にまで届かせません。

紫外線が皮膚に悪影響を及ぼすのと同じように、高意匠性サイディングボードの塗膜を破壊します。航空機用塗料にも使用される高性能紫外線吸収剤が紫外線を97.5%以上カット(紫外線領域で透過率が0に近い)。



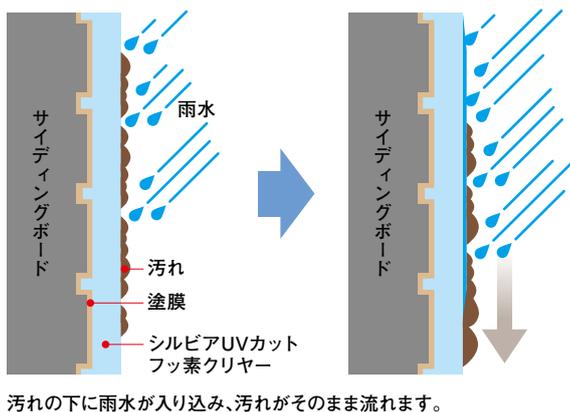
●シルビアUVカットフッ素クリアーの紫外線カット機能



低汚染性

汚れが付着しにくく、雨で汚れが流れます。

劣化した微細な表面凹凸を平滑に修復。塗膜表面技術や塗膜緻密性などの複合技術により、汚れの付着を低減し、雨による洗浄作用により低汚染性を発揮します。

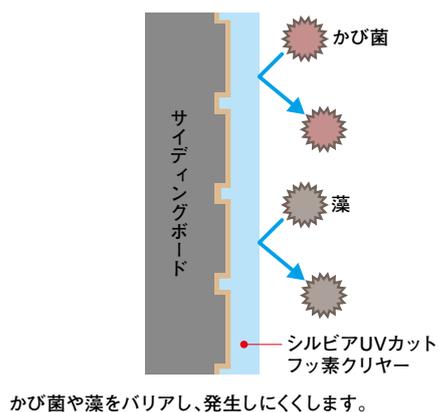


汚れの下に雨水が入り込み、汚れがそのまま流れます。

防かび・防藻

かびや藻の発生を抑制し、美観を維持します。

優れた防かび・防藻性をもつ薬剤を配合。かびや藻の発生を抑制します。



かび菌や藻をバリアし、発生しにくくします。

「シルビアUVカットフッ素クリヤー」施工上の注意事項

- 光触媒や強い撥水性処理もしくは強い親水性処理、無機系塗料が施されたサイディングボードには適用できないためご注意ください。
- サイディングボードの種類が不明な場合は、試し塗りを行った後に仕様を決定してください。
- クリヤー仕上げは下地の状態をそのまま反映してしまうため、下地の劣化が著しい場合はおすめできません。微細なひび割れなどの発生がなく、かつ築後10年以内であることを目安にしてください。
- 経年劣化したサイディングボード面への塗装は、表層内劣化部から剥離するおそれがあります。試験施工を行って付着性を確認してください。
- 塗装後は濡れ肌になるため、施工後、施工前と比較して、全体的に色が濃くなる仕上りになりますのでご了承ください。特に劣化が著しい場合は色調の復元にばらつきがあります。不安な場合は試験施工を実施して仕上りをご確認ください。
- 素地の種類によって塗膜不良が起きることがあります。あらかじめ適切な処理を行い、試し塗りを行った後に仕様を決定してください。
- シルビアUVカットフッ素クリヤー(以降、本製品)は、下地の状態をそのまま反映します。高圧水洗機、水拭きにより除去できないエフロレンス、チョーキング部分、ゴミ、ほこり、泥、油分などの汚れがある場合は、施工を避けてください。エナメル(着色)塗装をおすすめいたします。
- 既存塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄面にしてください。付着不良をおそれます。
- 被塗面の洗浄やエフロレンスの除去に酸性洗浄剤やアルカリ性洗浄剤などの薬剤を用いる場合、薬剤洗浄前に被塗面に十分に水を含ませてください。薬剤が壁面に残存したまま本製品を塗装しますと経時での塗膜の縮み、白化、剥離を起こすおそれがあります。そのため、薬剤洗浄後の水洗工程は、高圧水洗機もしくはブラシなどを用いて入念に行ってください。
- 洗浄はムラなく均一に行ってください。極端にきれいな部分があれば、仕上げ後のムラに繋がりますので、ご注意ください。
- エポキシ樹脂系注入剤やその他のエポキシ樹脂系補修剤などで補修した箇所は、はみ出した材料を除去してください。経時での変色や塗膜の浮き、剥離の原因となります。
- 塗膜のフクレ、剥離、白化、シミの発生につながる場合がありますので、換気が充分でなく絶えず結露が発生するような場所、用途での使用は避けてください。
- 気温5℃以下、湿度85%以上の施工は原則避けてください。施工が要求される場合は、採暖および採暖のための養生により、周囲気温度、被塗面温度5℃以上に行ってください。冬期においては、施工条件が特に厳しくなるため、事前に関係者と十分な打ち合わせを行ってください。
- 塗装間隔(乾燥時間)は塗装現場の温度、湿度、風通し、素地の状態などにより多少変わります。
- 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- 高圧水洗機や水拭きを行った後、水滴跡が残らないよう乾拭きを行ってください。水滴跡もそのまま反映されます。
- 水洗後、晴天下で必ず1日以上乾燥させてください。乾燥が不十分な場合、クリヤー仕上げのため残った水分の影響による外観上の不具合が目立ちやすくなるおそれがあります。
- 塗膜の乾燥過程や最終養生の時間内に水分の影響を受けた場合(高湿度、結露、降雨など)、塗膜のフクレ、白化、シミの発生につながるおそれがあります。水分の影響を受けるおそれがある

- 場合は、塗装を避けるか、強制換気などで表面の水分を除去してください。
- 3分艶は被塗物の形状、素地の状態、膜厚、色相、塗り重ね乾燥時間などにより、実際の艶と若干異なって見える場合がありますので、事前に試し塗りをして確認してください。
- コーナーエッジやジョイント部で塗膜がはがれている場合は、シルビアNADウレタンNで補修した後にクリヤーを塗装してください。
- 釘頭が出ている場合はエポキシプライマー NにシルビアNADウレタンNなどを施工した後クリヤーをかけてください。サビ止め塗装した上にクリヤーをかけることは絶対にしていただきません。
- シーリング材の上に本製品を直接塗装した場合、塗膜の密着不良やひび割れの原因となることがあります。シーリング材は原則として、打ち直しと施工してください。シーリング材の種類、劣化度により付着不良が発生したり、表面が汚れたりすることがあります。試し塗りを行った後に仕様を決めてください。
- シーリング材はマスキングテープなどで養生を行い、塗装は避けてください。シーリング面への塗装は塗膜の汚染、剥離、収縮割れなどの不具合を起こすことがあります。
- シーリング材可塑性プライード防止プライマーの上への直接施工はしないでください。剥離や塗膜黄変の原因となります。
- 防藻、防かび処理剤を使用すると黄変することがありますので使用しないでください。
- 所定のシンナー以外を使用したり、薄めすぎたりすると艶引けやダレ、かぶり不良などを起こす原因になりますので、必ず所定のシンナーおよび希釈量を守ってください。希釈率は、試験塗りなどにより決定し、それ以降は同一の希釈率にて使用してください。なお、希釈率は施工時の気温により変化することがありますのでご了承ください。
- 本製品は、使用前に内容物が均一になるように攪拌し、計量器を用いて、A液とB液を指定の比率で計量・調査し、電動攪拌機で充分に攪拌混合してご使用ください。特に「3分艶」では、艶消し剤が沈降している場合がありますので、攪拌機を用いて底部の沈降物を充分に攪拌してご使用ください。また、A液とB液の割合比率が不適切であったり、他の材料と混合したり、B液を投入しなかった場合は、仕上りや作業性が低下したり低汚染機能が発揮されませんので、必ず厳守してください。
- 塗装面を部分補修する際にも上記と同様な作業を行ってください。B液の入れ忘れにご注意ください。
- 補修塗りの際、仕上り肌の違いにより、若干の色相差を生じる場合がありますので、部分的に仕上りを確認した上で希釈量などを決定してください。
- 使用量は被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象条件、希釈量などの各種条件により、多少の幅を生じます。
- 各工程の塗装間隔や使用量、希釈量を守らなかった場合は施工不良や塗膜性能不良となることがあります。また、各工程において当社指定以外の材料を使用した場合は十分な性能が得られないことがあります。
- 塗り重ね時間は環境(温度、湿度、換気、風通し)や膜厚によって変わります。低温または高湿度時には、乾燥が遅くなりますのでご注意ください。
- 上塗り材の施工後、塗膜が乾燥するまでの時間内に降雨などにより塗膜表面に水分がかかった状態となりますと、白化や低汚染機能が発揮されない場合があります。
- 使用量は標準的な塗装を行う際のもので、塗装時の口スは考慮していません。気温、天候状態、膜厚、素地の状態や塗装器具の種類、形状などにより多少異なります。
- 上塗り材はムラなく均一に塗付してください。

- 大面積の塗装や汚れ、傷などにより補修塗りが必要な場合があります。補修の際は希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
- 材料調合後は、可使時間内(6時間以内、23℃)に使い切るようにしてください。なお、塗料の温度は保管場所により大きく影響を受けますのでご注意ください。
- 低汚染機能を発揮するためには、使用量の確保が重要です。特に凹部に塗り残しがないよう、注意してください。
- 3分艶仕上げの場合、下塗りは本製品の「艶あり」を使用してください。
- 「3分艶」を使用の際、吸い込みが著しい場合には、乾燥後吸い込みムラによる目地部の白化(艶消し剤のたまり)を生じることがあります。このため、1回目の塗装時、表面に塗膜が残らないような場合は「艶あり」を増し塗り、もしくは2回塗りをして吸い込みを止めてから「3分艶」を塗装してください。下塗りには必ず艶ありを使用してください。「3分艶」を下塗りに用いますと前述の目地部白化が生じやすくなります。
- 「3分艶」は、使用中にも塗料液が分離しやすい場合がありますので、適宜攪拌しながらご使用ください。
- 「3分艶」では、刷毛、ローラーでの塗装はムラが出やすくなりますので、スプレー塗装をおすすめいたします。
- 「3分艶」では、塗り継ぎや補修で艶ムラが出やすいので、面を切って通して塗装してください。
- 本製品に使用したローラー、刷毛などをほかの塗料の塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、充分に洗浄するか、本製品専用でご使用ください。
- 塗料には、湿気と反応する成分が含まれています。貯蔵の際は密栓し、冷暗所に保存してください。また開栓後はできるだけ早くにご使用ください。水、アルコール系溶剤(例として、エポキシシンナーやラッカーシンナーなど)の混入は絶対に避けてください。
- 施工部位により、低汚染性が充分に発揮されないケースがあります。特に、傾斜壁の下端部、笠木など、水切りのない部位、窓廻りや水切りが不十分な場合、雨がからからない部位は、注意が必要です。
- 低汚染機能は乾燥後の塗膜で発揮されるため、乾燥過程で降雨が予想される場合は、シート養生を行うなどして、塗膜表面に雨が当たらないよう、所定の乾燥時間を厳守してください。
- 低汚染性については、被塗物の種類や塗装仕上げの形状、建物の形状や部位、施工後塗膜が充分に乾燥する前、および乾燥して初期の段階で天候不良など、環境条件の影響で効果が充分に発揮されない場合があります。
- 鉄サビ・シーリング材などが原因の汚染物質に対しては低汚染機能が充分に発揮されません。
- 目地部が深く、ローラーなどで入りきらない場合は、目地刷毛などで塗装してください。
- 目地部の塗料たまりや被塗面にダレを生じた際は、目地刷毛、ローラーなどでムラ切り、除去してください。
- 硬化が不十分な場合は、シンナーで再溶解する場合があります。
- 可塑性が多く含まれる建材(塩ビ鋼板、ラッピングシート、プラスチック、ゴム類、合成皮革、クロスなど)などの施工は避けてください。可塑性が表面に移行し、塗膜にべたつきが発生します。また、ゴムやプラスチックなど可塑性を含む部位に直接触れると軟化や剥離を生じることがありますので、そのような場所への塗装は避けてください。
- 溶剤系塗料のため、外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。

「シルビアUVカットフッ素クリヤー」安全衛生上の注意事項

- 火気のあるところでは、絶対に使用しないでください。
- 万一、火災が発生した場合ABC粉末消火器にて消火するなど適切な手段を用いてください。水は使用しないでください。
- 施工中、乾燥中ともに換気を充分に行い、ミストや蒸気を吸い込まないようにしてください。
- 安全衛生上の観点から、取り扱い中は皮膚に触れないようにし、有機溶剤の蒸気を吸わないよう必要に応じて有機ガス用防毒マスク、手袋、および前掛けなどの保護具を着用してください。
- 取り扱い作業中、容器からこぼれないよう注意してください。こぼれた場合は直ちに布やウエスで拭き取るか、砂などを散布したのち処理してください。
- 材料の付着した布やウエスなどは自然発火や引火の危険性があるため、廃棄するまで水につけておいてください。
- 容器(取っ手を含む)はつり上げないでください。止むを得ずつり上げるときには、適切なつり具で垂直に持ち上げ、落下に充分注意してください。偏荷重になると取っ手が外れ、落下する危険性があります。
- 取り扱い後は、洗顔、手洗いおよびうがいを行ってください。

- 目に入った場合は多量の水で洗い、すみやかに医師の診察を受けてください。
- 誤って口に入った場合は、口を水でよくすすぎ、すみやかに医師の手当てを受けてください。飲み込んだ場合は直ちに医師の診察を受けてください。
- 材料が皮膚に着した場合は、多量の水で洗い流したのち中性石鹸と水で充分に洗ってください。痛みや外観変化があるときは医師の診察を受けてください。作業着などに付着した場合は、すみやかに着替えを行ってください。
- 皮膚障害、呼吸障害がみられる場合は、医師の診断を受けてください。
- 蒸気やガスを吸い込んで気分が悪くなった場合は空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 本製品の保管は必ずフタをし、雨露や直射日光の当たらない換気の良い室温5℃以下、35℃以上にならない屋内で保管してください。現場で材料を保管する場合は、直射日光や雨露が当たらない、風通しの良い涼しい場所で保管してください。夏季に車内での保管や高温になる場所での保管は危険ですので避けてください。

- 子供の手の届かないところに保管してください。
- 中身を使いきってから廃棄してください。また、廃液・汚泥などは関係法規に基づき、自社で適正に処理するか、産業廃棄物処理業者に委託して処理してください。
- 本製品は環境に配慮した材料を用いていますが、ご使用いただいたすべての人の健康状態を保障するものではありません。
- 本製品は、揮発性の化学物質(有機溶剤など)を含有し、臭気が発生します。あらかじめ元請や施主、近隣住民への説明を行い、了解を得てください。臭気も周辺にある物に付着する場合があります。付着が予想されるものは、施工箇所からできるだけ遠ざけ、屋内に揮発成分が流入しないように養生を行ってください。また、化学物質過敏症やアレルギー体質の方がいる場合には本製品との接触や施工を避けてください。
- 本製品の取り扱い並びに輸送および保管については、労働安全衛生法や消防法、道路運送車両法、船舶安全法、港則法などの各種適用法令を遵守してください。
- 製品をご使用の際は、必ず、警告ラベル、安全データシート(SDS)をご参照ください。

* 製品改良のため、仕様などを予告なしに変更することもあります。ご了承ください。

【その他、ご不明な点がございましたら、最寄りの営業所へお問い合わせください】

日本特殊塗料株式会社

■代理店

■お問い合わせ先

- 東京営業所 〒114-8584 東京都北区王子3-23-2 ☎(03)3913-6203 FAX(03)3913-6323
- 神奈川営業所 〒254-8503 神奈川県平塚市長瀬1-10 ☎(0463)23-2135 FAX(0463)23-3739
- 中部営業所 〒472-0006 愛知県知立市山町東並木北12 ☎(0566)81-8111 FAX(0566)81-8124
- 大阪営業所 〒565-0853 大阪府吹田市春日1-4-12 ☎(06)6386-8492 FAX(06)6338-3560
- 中四国営業所 〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13 ☎(082)423-8231 FAX(082)423-8256
- 九州営業所 〒849-0112 佐賀県三養基郡みやき町江口4726 ☎(0942)89-5766 FAX(0942)89-5762

●日本特殊塗料ホームページ <https://www.nttoryo.co.jp/>

SUVFCF-0225E-#2 [2025年2月作成] 定価350円(税抜き)